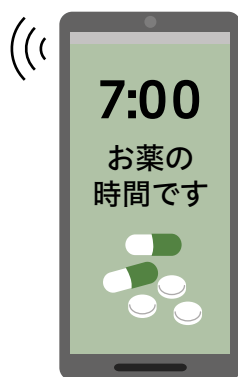


もの忘れには、身近な物でこんな工夫

生活をサポートし、より快適な日常を生み出す身近で便利なアイテムの一部を紹介します。その中でも、多くの人が持つスマートフォンは認知症の人をはじめ記憶力が気になるかたの強い味方です。

スマホアラーム

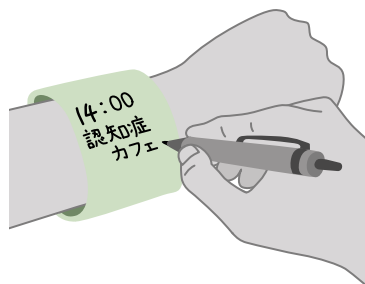
食事や薬、歯磨きやお風呂など、日常生活習慣のタイミングが分からなくなってしまっても、スマホのアラーム機能を使えば大丈夫。あらかじめテキストを入力しておけば、指定の時間に何をすべきか教えてくれます。仕事や通院など、外出の予定を入れておくのも便利です。



忘れ物防止タグ

財布や家の鍵、スマホなどを外出先に置き忘れてしまったり、家の中で失くしてしまったり。そんな忘れ物に対応するのがスマホやパソコンと連動し、忘れ物を防ぐスマートタグ。財布などに小型のタグを入れておくと、どこかに置き忘れたままその場を離れた場合、スマホに警告メッセージを表示したり、置き忘れた物が今どこにあるのかを検索したりできます。

腕に巻き付けるメモ帳



医療現場などの事務用品としても活用されている、腕に巻き付けるタイプのメモ帳ももの忘れをフォローするのに便利なアイテムです。スマホが苦手な人も利用しやすく、一度書いた文字を消して繰り返し使えます。



※参考出典: 寛裕介 / issue+design 著『認知症世界の歩き方 実践編—対話とデザインがあなたの生活を変える』

認知症シンポジウムを開催 3泊



講師の永田久美子氏

『認知症の「新しい常識」:みんなが元気に!』をテーマに、市内在住の認知症当事者と語り合うシンポジウムを開催します。また、当日は認知症当事者が制作した作品展も行います。ぜひお越しください。

と き▶9月29日(金)午後2時~4時

ところ▶シリウス内メインホール(作品展はサブホール)

定 員▶先着1,000人

講 師▶認知症介護研究・研修東京センター 永田久美子氏

申し込み▶不要。